

霞ヶ浦ブロック公述書

開催場所：霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール
開催日時：平成19年3月8日

以下の部分について公表します

届出者の住所 茨城 都(県) 小美玉 (市)・区・町・村
 年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上
 性別 (○で囲んで下さい) (男性) ・ 女性

公述人 1
 霞土-1

意見の概要

霞ヶ浦導水事業は水質浄化、既得用水の補給、新規都市用水の開発を目的に実施されている。そのメリットであるが、水質浄化については予測から時間が経過し状況が大きく変わり浄化効果は全く見込めない。既得用水の補完は利根水および那珂川両水系の降雨が同傾向を示していることから効果が期待できない。水需要については大幅な水余りが明らかになっている。以上本事業のメリットはゼロである。デメリットについてみる。那珂川から霞ヶ浦への導水はアオコが発生しなくなった霞ヶ浦へアオコの発生を促しCODの上昇を促す。上昇したCODを削減するため無意味な莫大な浄化予算を必要とすることになる。霞ヶ浦からの送水は、那珂川を汚染し、サケ、アユの生産を、瀬沼についてはヤマトシジミの生産を減少させる。また、霞ヶ浦の外来種を那珂川水系へ放散し那珂川水系の固有の生態系を破壊するという危険極まりない結果をまねく。本事業は百害あって一利なしである

以下の部分について公表します

届出者の住所 茨城 都(県) つくば (市)・区・町・村
 年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上
 性別 (○で囲んで下さい) 男性 ・ (女性)

公述人 2
 霞土-2

意見の概要

霞ヶ浦の諸問題の中でも、人の健康に関する水質問題への新たな抜本的対策が必要だと思います。COD値等が環境基準値をはるかに上回る水質に数十年も慣れきっている現状は特に問題です。思い切った対策を立て直さない限り人への影響がいつか顕在化するでしょう。かつて水俣病では海水の水銀濃度はきわめて低いのに、水から魚に約1万倍の生物濃縮が起きたそうです。水の水銀濃度から水俣病の発生を予測できなかったでしょう。したがって霞ヶ浦の場合も徹底した予防原則で対処すべきで、工場排水(規制外の小規模事業所も含め)や畜産排水、下水処理水中の農薬等の化学物質の規制は、閉鎖系水系の特殊性を考慮に入れ霞ヶ浦独自の厳しい基準を設定すべきです。とくに水質が悪化している北浦は、人への健康影響が社会問題化する前に緊急な対策が必要でしょう。浄水場の高度処理施設への転換、温泉排水の規制、畜産系の排出の問題への取り組みなどが早急に求められています。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所 茨城 都・県 土浦 (市)・区・町・村
年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上
性別 (○で囲んで下さい) (男性) ・ 女性

公述人 3
霞土-3

意見の概要

霞ヶ浦流域の耕作地における農薬散布量は、おおまかに小型タンカー1隻分に相当すると言われていています。これは、霞ヶ浦流域を担当する農業協同組合と農業資材取り扱い業者による1年間の販売量から算出したものです。これに加え、非耕地用の除草剤と殺虫剤が加わることで、薬剤による慢性毒性が水棲の動植物に影響していると考えられますが、定量的試験が困難であることから作用機序は明らかにされていません。しかしながら、無農薬ならびに減農薬の野菜、穀類、果実が好まれる時代背景を考慮すると、利根川および霞ヶ浦の水道水源としての安全性が求められます。さらに水道水源域のテロ対策措置として、理由のない立ち入りは制限する必要があります。渡良瀬遊水池の管理では、岸辺から水辺までアシ原に広く被われるメリットがあります。日祭日には大勢の市民で賑わい盛況です。霞ヶ浦においても、水道水源の安全確保のため、流入農薬類の還元とテロ対策を目的に、湖岸から100M沖合までアシ原で被う事業が必要だと思えます。必要に応じて、砂浜など市民とのふれあいの場を設けることもあわせて検討すべきと考えます。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所 茨城 都・県 土浦 (市)・区・町・村
年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上
性別 (○で囲んで下さい) (男性) ・ 女性

公述人 4
霞土-4

意見の概要

公聴会発表要旨

霞ヶ浦再生のカギは、流域からの汚濁負荷削減への地道な努力と同時に、湖内管理では、広く浅い海跡湖の特徴である緩傾斜沿岸帯の還元にある。物理的な河川管理とは大きく異なる湖沼学的見地を重視したい。治水、利水、生態系、水質、水産の五つの柱において、均衡がとれた整備計画が肝要である。霞ヶ浦の水質は、深い湖沼とは違った繊細な摂理で維持されていたが、開発によって入江、内湖、沿岸帯の砂浜・湿地が壊滅した。それによって治水、利水、農業生産が向上したが、他方で水質悪化、生態系劣化、漁業衰退が進んだ。今後はその反省の上に、自然浄化機能が高い河川敷、内湖(遊水池)、河口部における入江や湿地、沿岸帯における砂浜や湿地の還元と維持管理が重要である。特に緩傾斜沿岸帯は強い波浪による懸濁有機残滓打ち上げの受皿としての機能を有し、消波施設は水質、水産、生態系各面で有害。自然水位変化と波浪の機能を科学的に正当に評価すべきである。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所

茨城

都・県

牛久

市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人5
霞土-5

意見の概要

霞ヶ浦の水位管理について、自然環境に悪影響を与える冬期の水位管理を早急に見直し、自然再生に寄与する管理のあり方を検討する。

常陸川水門(逆水門)の管理について、逆水門の柔軟的な運用を行い、利水に影響のない秒での逆流を導入し、魚類の北上を促し、生態系の再生と漁業の振興を行うこと。捕り漁業の振興により、魚体によるフシソバリニの除去を行い水質を浄化する。

消波施設について、生態系を分断しヘドロの堆積を促す石積み消波施設の設置を見直し、消波が必要な場合にはソダなどの木材(流域産)を活用した伝統工法を採用すること。石と違いソダ等は、順応的管理を行うことができる。

逆水門の柔軟運用に関しては、アサザ基金の提案も参考にしたい。www.kasumi-ga-uta.net/asaza/を参照して下さい。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい

以下の部分について公表します

届出者の住所

茨城

都・県

土浦

市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

受付
19.11.2
公述人6
霞土-6

意見の概要

湖岸に居住する一般住民の立場より会員意見を取りまとめ、次の各点について陳述する。

- 治水-安全安心な居住環境維持のため波浪対策が必要
その手法と問題点について、及び高水位への対応する
護岸堤の補強工事の必要性について。
- 自然環境-湖岸植生帯の復元保全とその進め方及び
問題点について。
- 湖岸の利活用-学習憩いの場を創造保全するための
手法とその必要性について。
- 堤却水路の活性化と農業よりの排出水浄化について。
- 砂利採取の問題点について。
- 河川管理における官民協力体制の構築について。
- 河川行政のありかたと公金支出の適正化について。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

公述人 7
霞土-7

届出者の住所 茨城 都・ 県 土埭 市・区・町・村
年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・ 50代・60歳以上
性別 (○で囲んで下さい) 男性 ・ 女性

意見の概要

私は20数年前から霞ヶ浦の市民活動に参加し、世界湖沼会議でも発表してきた。今回、霞ヶ浦市民の口で意見を述べる。霞ヶ浦市民が望むのは、「安全な水」「豊かな水」である。計画の基本理念としての「安らかな」「清らかな」「豊かな」には、共感できる。課題は、その内容と実現への道筋である。環境ホルモン問題を含め、水道原水としての安全性はどうか。霞ヶ浦の環境基準に遠く及ばないことをどう説明するのだろうか。

水循環の中に、豊かな自然と共生していく道を選びたい。その動機から「自然再生協議会」に参加している。95年湖沼会議の熱気は、定着しただろうか。霞ヶ浦環境科学センターのパートナー活動に参加して、ボランティアの意志の固さを感じている。この意志が普通の暮らしに行渡ることが肝要である。昨年県歴史館で、霞ヶ浦の歴史像を描くシンポジウムが開かれた。霞ヶ浦の歴史・民俗への眼差しを未来に活かしたい。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

公述人 8
霞土-8

届出者の住所 都・県 土埭 市・区・町・村
年代 (○で囲んで下さい) 10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・ 60歳以上
性別 (○で囲んで下さい) 男性 ・ 女性

意見の概要

霞ヶ浦からの砂利取りの禁止

水質にとって一番大事なのは砂利と砂だと思ふ。「砂利のゆくえ」を市民が見守る事。ダム問題も、湖の水質浄化もそのひとことに尽きる。霞ヶ浦の砂利取りを企業に許可する事は理不尽だと思ふ。土埭の自然を守る会は今までに3回「砂利取りを禁止してほしい」という要望書を出したが、受け入れられなかった。企業があつて、それで生活している人がいる限り禁止するわけにいかない。といわれた事もある。かりに300人の人が生活しているとしても、飲料水として利用している30万人の人の数からみても比較にならない。砂利取りは湖岸に影響のない湖心で許可しているから、水質にも湖岸の生態系にも影響はないといわれた事もある。深くえぐられた砂利穴は嫌気性菌が発生してドブドロになっている。泳げる湖。浜づくり。砂利が不可欠だ。水質にとってどんな対策よりも、砂利取りを禁止する事が重要だと思ふ。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

届出者の住所

茨城 都・県 土浦 市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人 9
霞ヶ浦河川

意見の概要

「立国は公にあらず私なり」ともあるように、真の自立は我々住民一人ひとりに求められており、地域を良くするには、既存システムの変革と個人々の意識改革双方が機能しなければなりません。

霞ヶ浦と環境の側面から考えるに、水質浄化については地域住民がその重要性を認識しなければならず、今後の霞ヶ浦の方向性の選択は住民が握っていることを理解すべきである。その為、条例計画立案への参加や環境教育の推進、イベントを通じての認識の向上が必要である。これらは世論形成や意識の向上に役立つと考える。

また、レジャー観光の側面からは同資源である霞ヶ浦の有効利用を徹底し、現状の姿に馴染しを理解してもらつ仕組みを築き、霞ヶ浦と利用する機会を増やすべきである。既存のもの積極的活用と公私事業の両立度を高めることにより、地域経済の活性化及び霞ヶ浦への愛着が高まるものと考えます。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

公述人 10
霞土-10

届出者の住所

都・県

市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

意見の概要

私ども霞ヶ浦市民協会は、1996年発足以来、「泳げる霞ヶ浦」を目指して、多面的な活動を進めてきました。その活動のひとつとして現在、協会では「里浜づくり」に取り組んでいます。里浜づくりの目指すところは、かつての湖岸の漁村やまちの暮らしを参考に、浜づくりを通して、新しい形で暮らしと霞ヶ浦とを強く結びつけることです。浜の再生は、霞ヶ浦と直にふれ親しむ場を生むだけでなく、浜の維持管理活動によって、生物多様性や水質浄化機能が確保されます。われわれが考える「里浜づくり」の展開は、「一村一浜運動」として、湖岸のまちやむらに広がることです。里浜の実現には、地域の創意工夫とともに、住民と行政の協働が不可欠です。是非、河川整備計画の策定に当って、「里浜づくり事業」を位置づけていただきたい。